

現代建築

当社の製品が納入されている
現代建築を紹介します。

Hokkaido

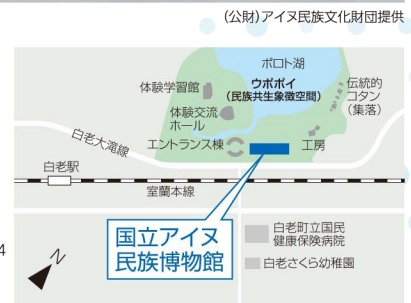


国立アイヌ民族博物館〈北海道〉

北海道白老町ポロト湖畔に誕生した『ウポポイ（民族共生象徴空間）』を構成する建物の一つで、先住民族アイヌの歴史と文化を主題とした日本初・日本最北の国立博物館になります。施設の全体の愛称でもある「ウポポイ」とは、アイヌ語由来の言葉で「(おおぜいで) 歌うこと」を意味しており、博物館ではアイヌ民族の視点で語る「ことば」「歴史」「世界」「しごと」「くらし」「交流」について触れることができます。



- 所在地／北海道白老郡白老町若草町2-3-4
- 敷地面積／8,600㎡
- 階数／地上3階



(公財)アイヌ民族文化財団提供

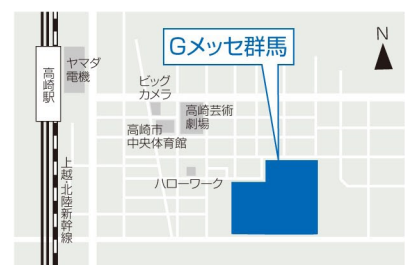


Gunma

Gメッセ群馬〈群馬県〉

JR高崎駅から徒歩15分の場所に位置するコンベンションセンターで、北関東最大の10,000㎡の展示ホールと1,000人収容のメインホールをはじめとする大小17の会議施設を完備しています。防風壁には群馬県のものづくり技術を表現した金属加工パネルを採用、エントランスの吹抜部には富岡製糸場のレンガ壁のフランス積みをも群馬県産木材を使用して再現、また、内装は縦糸・横糸を編んだようなデザインが施され、群馬県の繊維産業が表現されています。

- 所在地／群馬県高崎市岩坪町12番24号
- 敷地面積／111,768㎡
- 延床面積／32,726㎡
- 階数／地上4階



Tokyo



虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー〈東京都〉

東京都港区虎ノ門に大規模オフィスと商業施設を有する地上36階建ての複合タワー。日比谷線新駅「虎ノ門ヒルズ駅」(2020年6月6日開業予定)や、銀座線「虎ノ門駅」とも地下通路で連結し、1階には空港リムジンバスや都心部と臨海部を結ぶBRT(バス高速輸送システム)も発着可能なバスターミナルも設置し、新しい国際的なビジネス拠点として期待されています。

■所在地/東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 他
■敷地面積/10,065m² ■延床面積/172,925m²
■階数/地上36階・地下3階



Kyoto

サンガスタジアム by KYOCERA〈京都府〉

スポーツ及び文化の振興や、地域のにぎわい創出を目的とした府内唯一の専用球技場です。収容人数は、約21,600人を有しフィールドの広さは南北126m×東西84mで、屋根に約1MWの太陽電池が搭載されており、環境配慮型のスタジアムとなっています。観客席最前列より2m張り出した屋根で全席を覆い、ピッチとスタンドの距離を近くすることで迫力ある観戦を楽しむことができます。

■所在地/京都府亀岡市追分町
■建築面積/16,000m² ■延床面積/33,000m²
■階数/地上4階



納入先訪問記

静岡県

水産物の安定供給のための技術開発

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場 様



PHOTO:白浜神社

納入先のご紹介と ロケーション

■静岡県下田市は伊豆半島の南部に位置し、山と海に囲まれ自然の恵みに溢れた美しい街です。日本一の水揚げ高を誇る金目鯛は、下田を代表する海の幸として有名ですが、他にも日本最初の開港場の街としての魅力や、数多くの景勝地を有する観光地としても人気の街です。

■静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場様は浅海漁業の振興発展を図る目的で、昭和32年2月に設置されました。以来、テングサ、ワカメ、カジメ、イワノリ、アワビ、サザエ、イセエビなどの浅海（磯根）漁業生産物に関する調査研究・指導を行ってきました。最近では、栽培漁業や資源管理型漁業の推進、磯焼け対策などの分野で活動されています。

ポンプ用途 海水の取水と濁りのチェック

研究施設用の海水は、海水ポンプユニットを用いて取水し、ろ過タンクを経由させて使用する必要があります。その際、目視によって海水の濁りを確認し、濁り具合によっては、ポンプを手動で停止させるなどの手間がかかっていました。そこで弊社からこれらの操作を自動化する濁度検出機能付き海水送水ユニットをご提案し採用となりました。

定期的に海水をサンプリングし、濁りが基準値を超えると自動で送水ポンプを停止させることができ、省力化が可能となりました。研究施設内で利用する水質の安定化はもちろんのこと、ろ過機を含む他ユニットとの連動もスムーズに行えています。



静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場



取水ポンプ棟



外部生簀

濁度検出機能付き海水送水ユニット

特殊仕様 125GSPF80R3E5.5(インバータ3台ロータリー)+NFZ2-400T(サンプリング用)

ユーザー様のコメント

当施設では研究に欠かせない海水を安定した品質で取水することが必須です。季節や天候で水質が一定せずに苦労している箇所について、検知機を導入したシステムを考案いただきました。海水を定期的にサンプリングして濁度を計り数値が高い場合には取水を止める事が可能となり設置後も安定して運用しています。また台風や停電などの際にも非常電源に切り替わる事、ポンプを3系統で組んでいる事や真空ポンプを利用するなどリスク回避の点で考えられたシステムを構築していただきました。現在取り組んでいる金目鯛の人工授精の研究や他の様々な研究も含め欠かせない設備となっています。



取水ポンプユニット 125GSPF80R3E5.5



ユニット内のサンプリングポンプ



処理水送水ポンプ 80GSPF80AE5.5



海水取水管



海藻や稚魚の育成用水槽

納入品概要 濁度検出機能付き 海水ユニット

取水した海水の状態を自動でチェック！
濁度管理の省力化と安心・安全な海水給水へ

特別仕様のシステム一体ユニット

取水ポンプ



インバータ台数制御仕様の
海水用樹脂製ポンプユニット
※写真はポンプ単品GSP3形

濁度検出器



タイマー制御で
定期的に取り水

海水サンプリング用 NFZ2-400T形



取水した海水の濁度が設定値以上になると、
取水ポンプユニットを停止

ろ過タンク

受水槽

研究施設へ給水

担当者の声

沼津営業所 下前 隆亮

取材協力

生物研究施設へのポンプ納入は非常に神経を使いましたが、お客様のご要望に施工業者様と弊社で真摯に取り組み、川本にしかできない高度な海水取水システムを完成させ、海水の安定供給が実現できました。今後もアフターサービスを含めお客様のニーズにお応えできるよう取り組んで参ります。

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
研究科長 高木 康次様
静岡県下田市白浜251-1

納入先訪問記

佐賀県

有明海の海苔づくり
古賀様



PHOTO:有明海沿岸

納入先のご紹介と ロケーション

■佐賀県佐賀市は佐賀県の南東部に位置しており日本の近代化を先導した「幕末維新期の佐賀」の歴史遺産が市街地の各所に残っています。また海苔の生産でも有名で世界有数の干満の差を誇る有明海は多くの河川からのミネラル豊富な栄養塩が流れ込む恵み豊かな漁場で、1日2回の干出により旨みが凝縮されることで佐賀海苔独特の味わいが作られています。

■古賀様 有明海では海苔の生産者を海苔師と呼び、古賀様では代々海苔師として海苔の生産を続けておられます。海苔漁のシーズンは9月に支柱を建て1月～2月の真冬の海で収穫の最盛期を迎えます。潮の満ち引きに合わせ昼夜問わず丹生込めて作る海苔は日本を代表する逸品となります。

水処理機器用途 海苔生産業者向け

海苔の摘み取り作業（摘採）は、冬の寒い時期に海苔の光合成を避けるため、早朝の暗い時間や深夜に行い、摘採した海苔は、海中の不純物を取り除くために真水で洗う必要があります。古賀様のところでは1日5万枚の海苔を加工するのに水を50トン以上も必要とするため、水道水に頼ることができず、井戸水を用い海苔の洗浄を行っています。この際、井戸水に余分に含まれる鉄やマンガンを経水処理機器によりろ過する必要があります。従来は砂を利用したろ過装置で、ろ過性能が低く、更に定期的に砂を洗う作業が必要で大変な重労働でした。こうした中、施工業者様より相談を受け、弊社から新製品の「MAE8×2AS形」を提案し採用頂きました。

除鉄・除マンガンのろ過工程から、ろ材の洗浄までを全自動で行い安心してお使いいただける設計で、更にろ過槽が2台あるので大水量の処理が可能となっています。



海苔加工の様子



処理水水槽

納入品

アクアフィルターR

MAE形 イオン交換式 除鉄・除マンガン槽

ユーザー様のコメント

今回導入した「MAE8×2AS形」は、当然なことですがろ過した水がとてもきれいで満足しています。水量不足の心配もなく、さらに日常の管理はろ材再生用の塩を補充するだけでとても扱いやすいです。加工機械の汚れも少なくなり食品を扱う工場としては清潔に保つことができるので非常に助かっています。

この地域の海苔生産者の多くが同様に井戸水を使い海苔の洗浄を行っていますので、この水処理機器が広がれば、多くの海苔師に喜ばれると思います。



有明海苔



MAE8×2AS形 設置



テストキットによる水の比較 (左:原水、右:処理水)

納入品概要

MAE形 アクアフィルターR

イオン交換樹脂内蔵ろ過槽+再生用塩水タンク+警報盤をオールインワンユニット化

井戸水に含まれる見えない鉄・マンガンを除去！

特長 ①

最大ろ過流量拡大
(100L/min)

特長 ②

完全断水の回避
ろ過材再生時もタンク1台で
ろ過が可能です。

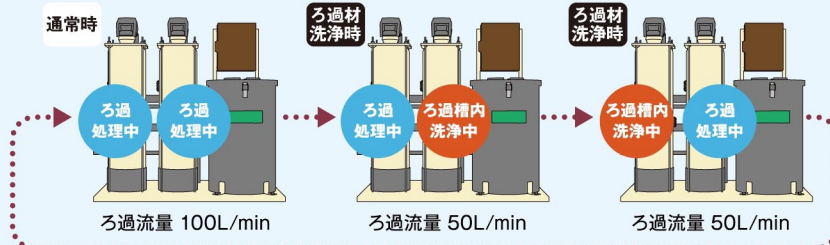
特長 ③

コンパクトユニット
①省スペース ②配管施工性向上
③塩水タンクの管理が容易



MAE8×2AS形

2つのろ過槽で連続処理のイメージ



担当者の声

佐賀営業所 村上 祥希

水処理機器MAE形の導入により水質改善や利便性の向上がみられ、お客様の喜びの声を聞くことができ大変嬉しく思います。また、古賀様の海苔生産に対する熱意に触れることができ貴重な経験となりました。今後もお客様のご要望にお応えできるような提案を継続して参ります。

取材協力

佐賀県佐賀市
海苔師 古賀 幸治 様